（様式３）

５　今年度の重点課題（学校アクションプラン）

<table>
<tr><th colspan="3">２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－１－</th></tr>
<tr><td>重点項目</td><td colspan="2">学習活動（教科指導全般の充実）</td></tr>
<tr><td>重点課題</td><td colspan="2">教科指導の充実と学力向上</td></tr>
<tr><td>現　　状</td><td colspan="2">・次期学習指導要領では、主体的･対話的で深い学びに向けた授業の改善が求められることから、指導内容や指導方法について各教科部会を中心に研修しているところである。思考力問題への対応、表現力の向上について、授業研究を活発化していく必要がある。
・学習指導研修会や互見授業を全職員により行い、資質向上を図ると共に、研修内容を充実させ、その成果を学習指導に活用できるよう努力しているところであるが、受験対策期である３年生２学期でのアンケートの実施率が低く、実態を十分に研究し指導に反映できていないのが現状である。
・週末や長期休業中に課している課題、自主的な学習を、生徒がいかに主体的にかつ具体的に計画を立て、取り組むかを指導し、実践させる必要がある。
・４月の学習実態調査の結果、学習時間が１週間合計で１・２年生は１８時間以上、３年生は２０時間以上確保することができた生徒の割合は１年生で４５％、２年生では２８％、３年生では２３％である。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">達成目標</td><td>①互見授業・生徒授業アンケートの年間実施回数</td><td>②１週間の家庭学習時間合計を１・２年生は１８時間以上、３年生は２１時間以上確保することができた生徒の割合</td></tr>
<tr><td>それぞれ２回以上</td><td>それぞれ７５％以上</td></tr>
<tr><td>方　　策</td><td colspan="2">・平日は予習復習を含め１･２年生は２時間以上、３年生は2.5時間以上。休日は週末課題等を含め、１・２年生は４時間以上。３年生は更に不得意教科等の克服を加え、５時間以上の家庭学習時間を確保するように指導する。
・部活動に加入している生徒のうち、家庭学習時間の確保が難しい生徒に対し、学校での休み時間の有効活用など、必要な学習時間を確保する工夫をさせる。
・面接週間を設け、ホーム担任を中心に生徒の実態に応じた学習指導を行う。
・課題については、内容・量・教科間のバランスを整え、過重な負担にならないよう配慮する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－２－</th></tr>
<tr><td>重点項目</td><td colspan="2">学習活動（国際理解教育）</td></tr>
<tr><td>重点課題</td><td colspan="2">英語コミュニケーション能力の育成と向上および充実した国際コースの活動</td></tr>
<tr><td>現　　状</td><td colspan="2">・授業を軸とし、さらに様々な活動（スピーチコンテスト、ボキャブラリーコンテスト等）を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指している。
・「国際コミュニケーション」を学校設定科目として設定し、自然な英語を聞きとり、英語でプレゼンテーションができ、さらに意見交換できる英語力の育成に努めている。
・特色ある国際コースを主とした活動である「国際理解セミナー」、「国際理解のための講演会」をより充実したものになるよう、生徒の参加意識の向上を図るための事前指導をさらに充実させる必要があるが、適した講師の招聘には苦慮している。
・平成３０年度国際コース卒業生で英語検定２級以上を取得した生徒の割合は６９％で(内２名は準１級を取得)目標を達成した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">達成目標</td><td>①コミュニケーション能力をレベルアップした生徒の割合（GTEC４技能、英検）</td><td>②「国際理解セミナー」、「国際理解のための講演会」への（希望者も含む）参加生徒の満足度の割合</td></tr>
<tr><td>GTEC　６９０点以上７０％（１年）
７５５点以上７０％（２年）
７９０点以上７０％（３年）</td><td rowspan="2">アンケート調査による「たいへん満足」「ほぼ満足」の割合が併せて９０％以上</td></tr>
<tr><td>英検　（国際コース）卒業時の英語検定２級以上取得者５割以上</td></tr>
<tr><td>方　　策</td><td>・国際コースに限らず、全クラスで英語力の向上を目指す授業を行う。
・英語に関する行事を工夫して行い、生徒の英語に関する興味・関心を高める。
・定期考査や実力テストなどで４技能を測るテストを実施する。
・英語検定の受検を推奨する。</td><td>・「国際理解」、「英語活動」、「コミュニケーション能力の向上」等に関する講師を県内外問わず招聘する。
・「国際理解セミナー」及び「国際理解のための講演会」が、より有意義なものになるよう事前指導を十分に行う。また事後に振り返り（感想）をさせることで、今後の学校生活や進路選択に役立つよう図る。
・満足度に関するアンケートを行い、より充実した行事になるよう工夫する。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－３－</th></tr>
<tr><td>重点項目</td><td colspan="3">学校生活（生徒指導の徹底）</td></tr>
<tr><td>重点課題</td><td colspan="3">全職員での生徒指導</td></tr>
<tr><td>現　　状</td><td colspan="3">・基本的生活習慣が身に付いていない生徒が一部見られる。特に遅刻・服装・マナー等の定着にやや欠ける。
・不審者による被害は大幅に減った。警察との連携を密にし対処している。
・自転車による交通事故が多い。昨年は５件と前年と比べて減少したが、重大事態に繋がる危険を秘めている。また、自転車の乗車マナーに関する苦情もある。
・ネットパトロールに指摘を受けた件数３件。個人情報、写真、不適切な表現を指摘された。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">達成目標</td><td>①交通事故年間件数</td><td>②教職員による巡回パトロールの年間回数</td><td>③ネットパトロールに指摘を受ける件数</td></tr>
<tr><td>昨年比２５％減</td><td>５０回以上</td><td>昨年比２５％減</td></tr>
<tr><td>方　　策</td><td colspan="3">・遅刻・ 服装・マナー等に関する指導を全教員が一丸となって行う。月初め３日間の登校指導を行う。同時に生活委員、生徒会が協力して挨拶運動を行う。
・遅刻及び服装の乱れの多い生徒については個別指導を徹底する。
・全教職員による巡回パトロールの実施や地域の防犯担当者及び警察との連携を図る。
・交通安全教室等やＨＲ、生徒会を通して交通安全に関する意識の高揚を図る。また、毎月１回、サイクル安全リーダーと共に交通安全街頭指導を行う。
・携帯・スマホの使い方や危険について、ネットトラブル防止教室や集会などの機会を捉え指導を行う。
・各種調査で、現状把握と対策を生徒と共に行う。</td></tr>
</table>

２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－４－		
重点項目	学校生活（保健指導）	
重点課題	健康保持や疾病予防に対する自己管理	
現　　状	・近年、生活の夜型化や睡眠時間の減少が高校生の脳や身体に影響を与え、頭痛・肩こりの身体症状、集中力・記憶力の低下、抑うつイライラといった精神症状を引き起こしている。本校でも、睡眠不足による体調不良を訴え、保健室に来室する生徒、授業で集中力を欠く生徒などの姿が見られる。平成30年度は、睡眠習慣の実態を把握した結果、睡眠の質に満足している生徒の割合は目標の３割を上回ったが、まだ５割には達していない。 ・定期健康診断によると、各種治療カードを発行している枚数は、平成30年度では200枚である。対象生徒に対し治療を促しているが、回収された治療カードは40枚で20％でしかない。そこで、本年度より各種治療カードの回収率を高めるように働きかけ、早めの治療をすることにより、健康な生活をおくることができるようにする。	
達成目標	①全体的な睡眠の質に満足している生徒の割合	②各種治療カードの回収率
	50％以上	25％以上
方　　策	・今年度も睡眠に関するアンケートを行い、本校での睡眠時間の現状を把握する。学年集会などの機会を通して睡眠の重要性を訴え、睡眠によい朝の生活習慣を整えることにより睡眠の質を高めていく。 ・南苑祭で全校生徒に睡眠の大切さを伝える活動を行う。 ・啓発活動として、年間２回運動期間を設け、治療カード提出を呼びかけるポスターを掲示するなどし、生徒の意識を高める。 ・保護者会の機会に、治療カード未提出者には治療にいくように促す。	

２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－５－	
重点項目	進路支援
重点課題	高い志を持ち進路目標の達成に取り組む生徒の育成
現　　状	・国公立大学に進学したいと考えている生徒の割合は１・２年次で９割以上、３年次で８割以上になるが、具体的な進路目標をもった生徒の割合が低い。 ・学部学科を２年次１学期までに決定できる生徒の割合が少ない。 ・低学年から３年間を見通した学習・進路指導を成長段階に応じて、学年と協力し、情報を共有しながら実施し、生徒のそれぞれの意欲を持続させられるよう工夫している。
達成目標	高校生学びのための基礎診断を利用し、学習到達度（GTZ）を、　１，２年生は１月模試において総合 B １以上の生徒の割合が６割以上、3 年生 11 月模試において5割以上とする。
方　　策	・進路指導計画に基づく各学年の方針に従い、生徒との個人面接を通して、生徒理解を深めるとともに信頼関係を構築し、具体的な目標を個々に設定させる。 ・学力検討会及び学年会を通して、教科と学年が連携して生徒の学習意欲を喚起し、学力の定着が図れるように努める。 ・ＳＴ前の朝の時間を活用して、短時間に集中し、かつ継続して学習させる。 ・普段の個別試験対策に加え、センター試験から個別試験へよりスムーズに移行できるように努める。

２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－６－		
重点項目	特別活動（部活動、学校行事の充実）	
重点課題	生徒による主体的な企画・立案・運営	
現　　状	・週１回のホームルーム活動では体育的活動が多く計画され、テーマを決めて討論したり、問題解決に向けクラス内で意見交換したりするような活動はあまり実施されていない。 ・多くの生徒は、体育大会、南苑祭などの学校行事に積極的に取り組んでいる。さらに内容を改善し、達成感・充実感を感じさせたい。	
達成目標	①ホームルーム活動において、討論会など各学期１回(年間３回以上)計画、実施する。	②体育大会、南苑祭の満足度 それぞれ７０％以上
方　　策	・学期始めのホームルーム計画立案の際に具体例を提示し、ホームルーム委員やホーム長が中心となり､課題に対して一人ひとりが自分なりの意見や意思を持った上で、合意形成に向けた話し合い活動に臨むようにする。 ・実施状況等アンケート調査し、次回の計画等に生かす。 ・体育大会は、生徒会執行部や体育委員、南苑祭は、生徒会執行部や南苑祭実行委員が中心となり企画しているが、より生徒に計画に参加させ、多くの生徒に運営させる。 ・満足度アンケートで、意見を集約し、改善に生かす。	

２０１９年度　富山南高等学校アクションプラン　－７－		
重点項目	特別活動（図書指導の充実）	
重点課題	読書習慣の定着と図書館及び図書資料の活用促進	
現　　状	・昨年度１人あたりの貸出冊数は3.5冊であった。(H29年度 3.0冊　H28年度 2.8冊) ・図書館への来館人数は１日平均５１人であった。 ・調べ学習や発表の機会が増え、生徒自身が情報を選択しまとめることで自己の思考を深めることが必要になっているが、生徒の図書検索力は十分とは言えず、また情報それぞれの重要性を把握する力も必要である。	
達成目標	① 図書の広報活動	②１人あたりの貸出冊数
	一年間に９回以上	３冊以上
方　　策	・１学年での図書館利用指導を充実させる。 ・ＨＲや「総合的な探究の時間（１年)、総合的な学習の時間（２・３年)」での図書館利用の企画を提案する。 ・生徒図書委員会の活動を通して、読書の楽しさを体験できる場の設定を工夫する。 ・「としょだより」（生徒向け）を発行し、新刊図書案内や生徒の読後感等を掲載することによって、生徒の読書欲を喚起する。 ・領域や系統を決めて一つのテーマや内容に沿った関連図書を随時紹介したり、常設コーナーを設ける。 ・図書館資料を利用した授業や課題を通して、生徒が図書を検索できるように段階的に指導する。 ・公立図書館との連携や教科との連携を図り、図書館資料を充実させる。	